

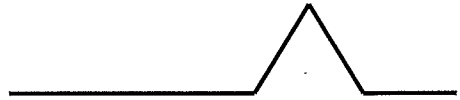
「心に響く道德の授業づくり」

～道德授業の構成について～

関西学院大学 横山利弘

1 授業一般について

■授業には山を



■ 山とは何か 考えるところ

■ 山の高さの調節 プロの教師

2 道德授業の構成

①資料を読む

副詞(句)に気をつける

例: さっと, はっと, だまって

- ・国語的読解の授業からの脱却が可能になる。
- ・多様な答えが出てくる。

資料の読みの深さが授業を決定する

②場面の数を考える

ストーリーを理解するための場面の数
と

道德上の問題を考えるための場面の数

③中心場面の決定

※ 授業の山の決定

④中心発問の決定

⑤予想される子どもの答えを想定する

⑥主題, ねらい, 内容項目の決定

⑦ ②で考えた場面のうち

不要なものを捨てる

- ・残った場面の必要な理由が明らかになる。
- ・基本発問の決定と予想(期待)される子どもの答えを考える

⑧ 必要に応じて(不要な場合もある) 子どもの体験談を聞く